

みんなの文芸



俳句

ことぶき俳句会

交差点まよい道して萩の花
八十が指先にあり初給
ななかまど色づく歩道友を訪う
兄弟で一尾の鮭を釣り上げる
金魚のいちねん生きぬ磨り硝子^{がらす}
弔辞書くこよい鈴虫こえ荒げ
雨やみて真西風に秋おもう
俎板^{まないた}にくらしのアリバイ九月かな

稲田 文江
大山みどり
越坂 順子
長谷川アキ
福原 仁子
松尾枝実子
渡邊 道
高橋 悦子

川柳

浦幌川柳会

読みさしの夢の途中に伸ばす背な
イタタア胡瓜と茄子に刺されたり
長雨に収穫遅れ秋の日々
庭に居る後ろ姿が母に似て

阿部 麗紅
柴田 弘子
星 愛子
加藤 未貴

川柳

上浦幌句の会

めぐみ雨育つ胡瓜のつるものび
歳重ね読み書く事はぼけ防止
葉蔭から覗く朝顔日毎ふえ
空眺め気になる天気曇り顔

河村みよ子
笹島カヨ子
芳川 乙美
高橋 幹雄

短歌

心友愛会

長雨は何時上がるや野菜たち
一つ一つが気にかかる日々
何時までも夫婦仲よく元気よく
どちらが欠けても不都合ね
めぐる秋カサカサ葎のそよぐ音
思い出の道淋しく歩く
一人身で月四回のデイサービス
笑顔が迎え楽しい一日
雨続き庭の雑草伸びほうだい
背を濡らしつつ荒草むしり
夏休み孫等と共に家族旅行
道南の旅楽しき想い
長き日々世話になったその人を
あの世に行っても忘れぬように
耳なりと立ちくらみ日々つづく
友に甘える暮らす老いあり
脳病で入院生活ままならぬ
仲間に会える日を待ち望み
老い進み一人暮らしもままならぬ
娘に甘えて札幌暮らし

山久保敬子
前川 静江
長屋みよ子
小澤 つや
角田美代子
浅野 京子
堀井あやの
富田さた子
小川 房子
田代 千工
千葉 光恵
山岸 明美
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■表紙の写真は、浦幌町子ども文化鑑賞会上浦幌地区公演のひとつ「ねこはしる」という題の公演を鑑賞する子ども達。迫力ある演技に、子ども達も見入っていました。

■私は剣道連盟に所属していますが、会員の方が六段に昇段しました。分らない人は「へえ」と流してしまいましたが、六段に昇段するのはとても大変な事です。「周りの協力もあっての事」とご本人はおっしゃいます。何よりご自身の努力あつての昇段です。

■小さい頃、祖母によく「努力してれば、人は見てなくても、神様は見てくれて、きつと良い事があるんだよ」と言われました。その話のとおり、やはり、努力する人には必ず良い結果が出るものだと思つづく思いしました。私はというと、見えるような結果は出ていません。努力が足りないようです。

■私も、皆さんに納得していただけるような「編集後記」が書けるよう、もっと努力したいと思えます！
(川)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。